

かみ

議会だより



平成25年
6月定例会
第34号

力を合わせて
さあ行こう

(小代小学校5年生 自然学校)

— CONTENTS —

- **国保税率を決定** 2
- 補正予算 7
- 住民の声 届くか (14人が一般質問) 8~14
- この人 ここにあり 16

国保税率を決定

◆香美町国民健康保険税条例の一部改正

改正前(H20年4月から)

妻	夫
国保 均等割	後期高齢者 医療制度
国保 平等割	

↑
【特定世帯】
2分の1の軽減措置(5年間)

改正後(H25年4月から)

妻	夫
国保 均等割	後期高齢者 医療制度
国保 平等割	

↑
【特定世帯】
2分の1の軽減措置(5年間)

妻	夫
国保 均等割	後期高齢者 医療制度
国保 平等割	

↑
【特定継続世帯】
4分の1の軽減措置(3年間)

- ◆主な改正点◆
- ① 特定世帯にかかる軽減特例措置の延長(左図)
 - ② 1人当たり平均医療分と支援金分で3千175円(4%)・介護分で2千672円(9.6%)の増加
 - ③ 税率の改正に伴う、低所得世帯に対する軽減額の改正

平成25年度6月定例会は、6月12日から26日までの会期で開催しました。
今定例会では、国民健康保険税条例の一部を改正し、平成25年度国民健康保険税の税率を決定しました。
主な改正点や質疑は次のとおりです。

モデル世帯における国保税額の比較表

【医療分・支援金分】香美町全体の標準世帯 現行 ①被保険者2人 ②課税所得金額827千円 ③固定資産税額59,000円
改正案 ①被保険者2人 ②課税所得金額863千円 ③固定資産税額60,000円

区分	現行	改正案	比較増減
医療分	120,700円	123,100円	2,400円(2.0%)
支援金分	35,100円	37,500円	2,400円(6.8%)
医療分+支援金分	155,800円	160,600円	4,800円(3.1%)

【介護分】香美町全体の標準世帯 現行 ①被保険者1人 ②課税所得金額815千円 ③固定資産税額54,000円
改正案 ①被保険者1人 ②課税所得金額820千円 ③固定資産税額54,000円

介護分	現行	改正案	比較増減
介護分	35,900円	38,300円	2,400円(6.7%)

質疑

問 医療分増税は、基金を取り崩せば増税しなくても済むのではないかと
答 1人当たりの医療費が増えたのと、基金からの繰入額が去年より減つたため医療費の3%増(900万円)はやむを得ないです。

問 年金減、消費税増税等これから支出が懸念される中、増税はいかがなものか
答 基金取崩しは安易にすべきでなく、また、一般財源の投入は社会保険との公平性の面からも問題があります。今回の増税は許容していただける範囲のものと認識しています。

問 但馬の他市町の国保税の状況はどうか
答 現時点では同時期に税率算定しているため把握できていません。把握でき次第資料作成します。

反対討論

山本賢司議員
今回の増税(医療費分900万円)は基金残高が約2千300万円ある中から拠出できるはず。国保税が払えない町民がおられる状況の中で増税はすべきではない。

反対討論

谷口真治議員
不況・消費税増税・年金減・円高による物価高騰など生活が苦しい中、町内2団体から国保税は引き上げずに引き下げる旨の請願も出ている。基金を使えば今回の国保税増税はしなくてもよいはずだ。

賛成多数で可決

税条例の一部改正

◆主な改正点◆

- ①復興増税期間の個人町民税におけるふるさと寄付金の特別控除額の見直しをします。
 - ②保育所を設置している公益法人が認定こども園を設置しようとする公益法人に財産を贈与する場合の非課税特別を継続適用します。
 - ③居住用住宅取得の際の住宅借入金等特別税額控除額の適用期限を4年間延長し平成29年まで延長します。
- その他、東日本大震災に関連して課税特例、控除等に一部改正がありました。

質疑

問 ふるさと寄付金の実績と今後は

答 香美町の実績は県下でもトップクラスで、今後も今までの町長が取り組んできたように取り組む予定です。

全員賛成で可決



子ども・子育て会議設置条例

地域の子ども、子育て支援を充実させるための「子ども・子育て会議」を設置するのに伴い条例が制定されました。

質疑

問 子ども・子育て支援の費用は消費税増税分が充てられるようだが

答 景気が好転せず、消費税増税がなければ法の施行も遅れる可能性もあります。また、消費税増税までの期間の費用は町負担で進める予定です。

子育て支援充実へ

問 香美町における子育てをめぐる課題は

答 国は幼保連携の認定子ども園を推奨していますが、町内の幼稚園・保育園のあり方がこれからの課題になります。

問 町の担当課は

答 企画課・こども教育課・健康課・福祉課ですが、取りまとめは企画課が行う予定です。

全員賛成で可決

その他の条例制定・改正

放課後児童クラブ設置に伴う条例制定

余部鉄橋空の駅に公園を追加する旨の変更

町立香住幼稚園移転に伴う住所変更の条例改正

全員賛成で可決

香美町職員の給与臨時特例条例

東日本大震災の復興財源捻出のため、町長・副町長・教育長・病院事業管理者及び職員の給与減額案が提出されました。

〔期間：平成25年7月1日～平成26年3月31日〕

質疑

問 嘱託職員も対象か。

答 対象人員とカット率は何か

答 組合加入の嘱託職員

18名が対象です。カット率は2%です。

問 国からの押し付けか

答 自主的な判断で交付税の減額分を不足額4千万円に充てます。

反対討論

谷口 眞治議員
賃下げはデフレを助長し、地域経済に悪影響だ。

賛成多数で可決

答 24年度決算が出ていなかったたので、23年度決算を提示しました。

修正動議を提出 山本 賢司議員 藤井 昌彦議員

報酬審議会の答申を尊重するとともに、現在の財政状況から判断すべきだ。

質疑

問 5月30日の報酬審議会に正しい財政状況を伝えたのか

修正動議 反対討論 寺川 秀志議員

議会基本条例を尊重すべきだ。

修正案を賛成多数で可決

・議員報酬表 (単位：円)

職名	改正前	改正後	減額率
議長	321,000	289,000	10%
副議長	237,000	214,000	10%
委員長	219,000	198,000	10%
議員	214,000	193,000	10%

・特別職給与表 (単位：円)

職名	改正前	改正後	減額率
町長	752,000	691,840	8%
副町長	616,000	585,200	5%
教育長	564,000	535,800	5%
病院事業者 管理	526,000	499,700	5%

・職員減額率表

区分	減額率
課長・副課長級	4%
主幹・主査級	3%
主事級	2%
技能員	2%

・特別職の期末手当及び職員
の期末・勤勉手当は一律2%カット

契 購入契約2件 (約3千137万円)

約 大型工事請負契約4件 (約16億1千721万円)

契約内容

- 小型動力ポンプ付積載車購入契約**
 契約の目的：小型動力ポンプ付積載車3台を購入
 契約の金額：金20,349,000円
 契約の相手方：鳥取県鳥取市古海356番地1
 株式会社 吉谷機械製作所
- 小型動力ポンプ購入契約**
 契約の目的：小型動力ポンプ7台を購入
 契約の金額：金11,025,000円
 契約の相手方：鳥取県鳥取市古海356番地1
 株式会社 吉谷機械製作所
- 香美町防災行政無線デジタル化整備工事請負契約**
 契約の金額：金672,000,000円
 契約の相手方：大阪府大阪市中央区本町2丁目5番7号
 沖電気工業株式会社 関西支社
- 香住小学校体育館耐震補強及びトイレ改築工事請負契約**
 契約の金額：金84,525,000円
 契約の相手方：香美町香住区香住133番地の1
 中村組・松本工務店特別共同企業体
 代表者 合資会社 中村組
 構成員 松本工務店
- 村岡小学校耐震補強及び大規模改修工事請負契約**
 契約の金額：金487,200,000円
 契約の相手方：香美町村岡区福岡1073番地の6
 西岡・石井・古家特別共同企業体
 代表者 (株)アイテック西岡
 構成員 石井建材(株)
 構成員 (有)古家工務店
- 村岡学校給食センター建築工事請負契約**
 契約の金額：金373,485,000円
 契約の相手方：香美町村岡区福岡17番地
 西村・田野・北村特別共同企業体
 代表者 (株)西村工務店
 構成員 (株)田野工務店
 構成員 北村工務店

◆防災行政無線 — 随意契約

デジタル化整備工事

質疑

問 8者の入札で、なぜ7者が辞退したのか。また、現行の香住区の防災無線はこのメーカーか

答 なぜ辞退したのかは不明です。現在香住区で使用しているメーカーは沖電気工業(株)です。

問 広域消防のシステムとメーカーが違うが、互換性に問題はないか

答 広域消防の設備との互換性も問題ありません。

問 今後香住区の防災行政無線デジタル化に価格面でどれくらいかかると見積もっているか

答 小代・村岡・香住を合わせた、全体事業費約13億円を予定しています。

問 小代区の施工が完了したら、村岡区の有線料金を無料にすると報告があったが間違いないか

答 間違いありません。

問 6億7千200万円と高額だが、町内業者を使うよう配慮したか。今ある有線のスピーカーは使用できるのか

答 各メーカーには町内業者を使用するように伝えてあります。現在の有線のスピーカーは使用できません。

問 設計業者と施工業者が同系列ということはないか

答 設計業者と施工業者は何ら関係ありません。

積載車・ポンプの更新

- | | |
|----------|-----------|
| 積載車 両 | 村岡第3分団 |
| 〃 | 村岡第7分団 |
| 積載車両とポンプ | 村岡第8分団 |
| 小型動力ポンプ | 柴山分団第1部 |
| 〃 | 佐津分団第1部 |
| 〃 | 村岡第3分団耀山部 |
| 〃 | 村岡第7分団宿部 |
| 〃 | 村岡第11分団境部 |
| 〃 | 小代第1分団神場部 |
| 〃 | 小代第6分団石寺部 |

◆小型動力ポンプ付積載車購入

◆小型動力ポンプ購入(7台)

質疑

問 不要になった消防車の売却方法は、ネットオークションを活用するのか。また、予定価格及び最低制限価格を議案審議中に公表する予定はあるか

答 救急車両ですので、廃車にはしますが、売却はしません。現行のままと考えます。落札率に関しては、公表していません。

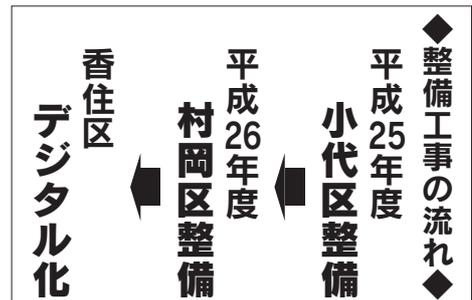
全員賛成で可決

きなくなり、随時古いものは回収します。

問 全町又は各区毎の行政放送の運用規定はあるのか

答 現在統一した規定はありません。今後規定等を整備していきたいと考えています。

賛成多数で可決



子どもたちを地震から **守れ!!** **学校施設耐震補強及び改築/改修**

香住小/平成25年11月完了予定：村岡小/平成27年3月完了予定



安心・安全な学校へ変わります
 村岡小(上) 香住小体育館(下)

◆香住小体育館耐震補強 及びトイレ改築工事

質疑

問 基礎の部分は今回の耐震工事の中に入っているのか。工事はしなくていいのか

答 上屋建物のみの耐震工事となっています。基礎については、耐震工事は必要ありません。今回の工事は、体育館耐震と合わせたトイレ改築工事を同時に行ないます。

全員賛成で可決

◆村岡小学校耐震補強 及び大規模改修工事

全員賛成で可決

地元食材を活かした特色ある給食を!

600食/1日

村岡学校給食センター新築

鉄骨造、2階建て(一部) 延床面積約682㎡/平成26年3月完成予定

◆村岡学校給食センター 建築工事

質疑

問 入札業者の参加資格を制限されたが、多くの地元業者が入札に参加できるように配慮すべきと考えるがどうか

答 町内業者からの要望を聞く中で、内部で十分検討して今後対応していきます。

問 現在体育館の解体が進んでいる。隣が保育園であるが安全・騒音等の対策はできているか

答 工事業者や保育園とも協議の上、安全面と保育園のお昼寝の時間帯に騒音を出さないよう配慮をお願いしています。

問 今後、村岡区・小代区の学校給食を統合すると聞いている。今小代区は地域の食材を活かした学校給食の取り組みをしている。今後も小代区の給食センターは残しては

いかがか

答 各地区の食材を活かすという取り組みは、今ある施設を活用しなくてもできることで、給食センターが統合したとしても、地元食材を活かしていきたいと考えています。

賛成多数で可決

町道の認定と廃止路線

廃止路線

路線名	起点/終点	延長(m)
秋岡新屋線	小代区新屋313番地先から 小代区新屋687番地先まで	1314.4

認定路線

路線名	起点/終点	延長(m)
秋岡新屋線	小代区新屋313番の1地先から 小代区新屋923番の1地先まで	1014.0
岸ノ前線	小代区新屋774番の1地先から 小代区新屋814番の1地先まで	304.0
余部道の駅線	香住区余部字村上1726番地先から 香住区余部字村上1712番の1地先まで	36.0
余部空の駅公園線	香住区余部字寺ノ下夕1708番の1地先から 香住区余部字浜1797番地先まで	91.0

人

教育委員

次の方を教育委員として任命することに同意しました。
任期は平成25年7月8日から4年間です。



村岡区村岡317番地の5
もり わき とし はる
森 脇 俊 晴 さん

事

人権擁護委員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。
任期は平成25年10月1日から3年間です。



小代区平野615番地の1
ふし い のり こ
藤 井 紀 子 さん

兵庫県後期高齢者医療 広域連合議会議員

選挙の結果、浜上勇人町長に決定しました。

請願

継続

がん対策・支援に関する請願書

請願趣旨

がん患者と家族は、自分らしく生活しながら、がんを闘う社会の構築とがん撲滅のため、更なるがん対策の充実を求め国・県に意見書を求めます。
総務民生常任委員会に付託され、委員会の継続審査となりました。

請願者 リレー・フォー・ライフ但馬実行委員会

実行委員長 坂本 初美
紹介議員 徳田喜代子

不採択

平成25年度国民健康保険税を引き上げず、引き下げを求める請願書

請願趣旨

町民はデフレ不況下で厳しい生活を余儀なくされている中、これ以上の負担は耐えられないので、平成25年度国民健康保険税の引き下げを求めます。
総務民生常任委員会に付託されましたが、みなし不採択、本会議で不採択となりました。

請願者 但馬民主商工会香住支部 支部長 有田 実

全日本年金者組合但馬支部美方班 班 長 石津 榮一
他547名

紹介議員 谷口 眞治、山本 賢司

採択

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する件

請願及び意見書の趣旨

産業建設文教常任委員会に付託され、全員賛成で採択、本会議で採択され、意見書を国へ提出しました。
請願及び意見書の趣旨
少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模はOEC D諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担割合を2分の1に還元すること。

請願者 兵庫県教職員組合美方支部 支部長 山本 和正

紹介議員 山森 昭夫

義務教育(中学生)までの医療費無料など3千600万円を補正

6月定例議会の一般会計補正予算では、こども医療費助成・子ども子育て会議事業費等が新たに組まれました。主な質疑は次のとおりです。

質疑

問 子ども子育て会議の内容説明を

答 計画期間は5年となつています。保育所・幼稚園の入所入園希望、また、子育て支援に対する意向を中心に、現在の利用状況と今後の利用希望を調査します。

問 こども医療費助成事業で所得制限がかかるの

はどれだけか。中学生まで無料化した理由は

答 24年度の小学生高学年では約6%の方が所得制限にかかっています。選挙戦での公約でもありますが、少子化対策の中で義務教育までは無料にとの思いです。財政状況を見届けながら、できる限り長い間続けていきます。同じ少子化対策の中で出産祝金については今後検討します。

問 風しん予防接種の対象はどのように考えているのか

答 これまで風しんにかかったことがなく、かつ、予防接種歴がない方のうち、妊娠を希望する女性

はどれだけか。中学生まで無料化した理由は

風しんの抗体価が低い方を対象に行ないます。

問 町内で子宮頸がんワクチンの後遺症が生じたケースはあるのか。また、今後どのように接種を進めるのか

答 後遺症は出ていません。また、定期接種となつていきますので保護者の方がご希望であれば接種を行ないます。

問 猿尾滝の工事は、いつ頃されるのか。祭りに支障はないのか

答 6月末目途に遊歩道の全面開放に向けて工事を進めたいと考えています。猿尾滝まつりには支障がでないようにします。

問 香住幼稚園整備事業など昨年度に発注された工事請負費の補正理由の説明を

答 支給木材の追加と大工の手間賃が主な要因です。平成22年度から木材の使用が義務付けられ、できる限り町内産木材を使用することとしていま



大盛況の猿尾滝まつり

国民健康保険事業特別会計

反対討論

谷口 眞治 議員

多くの町民の皆様が長期のデフレ、また、アベノミクスによる円安で原料・燃料の高騰で更に厳しくなっている。このような状況であるので国保税を引き上げることに反対である。

賛成多数で可決

水道事業企業会計

賛成多数で可決

全員賛成で可決

問 香住駅段差解消事業で変更した箇所は

答 駅舎入口から改札までのスロープ全体を見直し、手すりをもう1本追加設置します。

問 海の文化館で展示品が紛失したとの事だが

答 3名の方より展示品を借用していましたが、この度1名の方の展示品がなくなっていました。今後このような事が起きない様にいたします。

問 香住幼稚園整備事業など昨年度に発注された工事請負費の補正理由の説明を

答 支給木材の追加と大工の手間賃が主な要因です。平成22年度から木材の使用が義務付けられ、できる限り町内産木材を使用することとしていま

いたくないよ



町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月24日と25日に14名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



検診で早期発見を



望まれる観光客の増加

香美町ではがんが病死の一位で、年々増加するがん患者にとって医療・



徳田喜代子 議員

子宮頸がんワクチンは安全か 香美町では副反応はありません

社会環境の整備が急務である。そこでがん対策と支援について伺う。

①早期発見に有効ながん検診の受診状況と受診率向上のための対策②安全性が問題視されている子宮頸がんワクチンの接種状況と厚労省の勧奨中止を受けての対応③がん

患者の就労支援・サポート体制の整備が必要だが町長の所見を問う

町長 ①町ぐるみ総合健診や個別検診で腹部超音波検診を導入し受診率は県内でも上位です。受診率向上に向け、土曜検診、節目年齢の無料検診、

託児コーナーを設け若年からの受診を推進しています。②中学1年生から高校2年生までを対象に3回無料接種していますが、副反応はありません。国の勧告を受け新規の対象者等に接種勧奨差し控える案内をしました。③未整備なので、関係部署と協議し支援方法を検討します。



寺川 秀志 議員

観光客の2割アップをどのように図るか 大型イベントが効果的だと考えています

町長は、観光振興について香美町には産業・観光資源は質・量ともに大変豊富にあるが、発信方法に課題があると発言しているが、町全体の状況は景気の低迷・観光に対

町長 近年町民が中心となり、しおかぜジオパークやダブルフルウル

するニーズの多様化等です。また熱心な関係者と行政が一体となって取り組んでいる。その中であつて、どのような発想で観光施策を展開し、観光客の2割アップにつなげるか。町長の考えを問う

トラランニング、残酷馬拉ソンなどが民間主導で実施され多くの皆さんが香美町を訪れています。現在、香住区でのマラソン大会やオートバイのツーリングなど民間で新たな活動が企画されています。観光客の増加には大型イベントの開催が効果的だと考えていますので、周遊や宿泊に繋がるよう広報、PRなど側面から積極的に支援します。



思い出をありがとう



売却予定が一転、地域で利用される旧大谷小学校跡地

村岡区口大谷にある大谷体育館の土地の売却をやめて、その土地がある地域に則した、新たな活用を提言する。具体的には、地域の高齢者の健康維持の場として又、ふれ



西谷 尚 議員

町長 今までの方針は、土地を売却する方向で進めていました。関係区長

あいの場として活用する事を提言するものである。私は、高齢者が増える中、地域コミュニティの場として活用することが、地域の皆様の活力となり、健康維持が出来る、医療保険費等も削減するものと考えます。
町長の考えを問う
連名の要望書を受ける中で、再検討を行った結果、早急な売却は行わず、地域に則した地域コミュニティの場として活用していただく事に致しました。尚、公共的活用や地域振興等に必要が生じた時は、活用にご理解を頂きます。
管理については、地域の皆様で管理をお願いします。

売却やめ地域に則した活用を！ 地域コミュニティの場として活用



山本 賢司 議員

町長に町財政についての認識を伺う。所信の中で、財政健全化ありきで

町財政はまだ大変なのか 32億円の基金、町民のために

町民の負担増や事業抑制も仕方ないという風潮には少なからず疑問、と述べた。一方で5月30日の特別職報酬等審議会へは平成23年度決算を示し、財政調整基金は12億円を達成したが、合併算定替で地方交付税は減少を続ける、と示している。

平成24年度最終補正で4億円、決算積立もあり基金は増えるが示していない。正しく見通しを示した、と言えるか。
又、全国で合併算定替が行なわれると地方財政は持たなくなる。国に対して意見具申を行うべき

町長 平成24年度末の3基金は32億円余りで実質22億円を見込みます。平成20年度末で6億6千万円でしたから大幅増加です。財政健全化努力の成果と考えます。
合併算定替に対応するために何が何でも22億円を死守しようとは考えません。町民生活のために取り崩す用意はありません。



香住病院の将来を見据え医師確保を



調査に協力した 漁業調査船たじま

香住沖メタンハイドレートの活用は 講演会の実施を検討している



西川 誠一 議員

次世代エネルギーとして注目されているメタンハイドレートが香住沖に

賦存の可能性があるというところで、兵庫県が昨年
から調査に乗り出していることは、マスコミ等にも報道され多くの期待や夢が持たれる。
町長も所信表明の中に、
国県の新エネルギー開発に積極的に関与し、町有施設や町有地の有効活用

を構築すると表明された。今後どのような活用を考えているのかを問う

町長 久々の明るい話題ということで期待はしました。理想と現実という問題があります。兵庫県には町の支援の申し出は行っていますが、

現段階で具体的な支援策や取り組みを示すことはできません。
国家的プロジェクトであることから、自治体の思考が通じるか不明ですが、今後とも兵庫県との情報交換を図り、関連した講演会等の開催を検討していくなど積極的に取り組んでいきます。

医師確保に奨学金制度の創設を!! 今は考えを持っておりません



岸本 正人 議員

医師確保については、町長・当局非常に苦勞して一生懸命にやっております。しかしこの問題は、今来てほしい短期的なこと、奨学金制度による長期的な

計画と、両面で確保を図るべきと思う。香住病院では臨床研修ができないから償還免除の期間等で難しいと言いが、それらは運用面で方法を考えることで可能であると思う。奨学金制度の創設は長期的に有効な手段として検討すべきである

町長 問題は香住病院としてどこまで他の病院と違う制度をつくれるか

という事です。臨床研修ができないから、2年余分に勤務しないと免除の対象になりません。この2年間の不利を医学生がどう判断されるのか。又破格の待遇で免除という考え方が、町の財政状況で可能なのか。あるいは町民の理解が得られるのかという判断に立ちますと、奨学金制度はとりにくいのではないかと結論に達しております。



海開き行事での保育園児



ふるさとを愛する次世代人材育成

合併後町に活力、活気がなくなったとよく耳にする。町の人口が毎年四



見塚 修 議員

町に活力を取り戻すための施策は 新たな取り組みを行ないます

- 百人前後減少、生れてくる子供は百数人ではこの町に明るさが見えない。その打開策として、
- ①UIJタウンを含めた若者の定着。
 - ②働き場の確保。
 - ③産業の振興。
 - ④メタンハイドレート、木質バイオ等の資源の活

用。等が考えられるが、これらに対する施策を早急に取り組む必要があるが、具体的施策の考えは

町長 町の活性化のためには人口増が必要ですが、①町内企業の情報発信（企業ガイドブックの作成、企業説明会参加への支援）

でUIJタウンを推進します。②各種奨励金、補助金制度で企業誘致、雇用の創出に努めます。③豊富な資源を生かし、観光を基軸に六次産業化を進め観光客2割増に取り組みます。④積極的に関与し、本年度にバイオ活用基本計画を作成し、木質系発電の調査も進めます。



藤井 昌彦 議員

次代のふるさとをつくる試行とは マラソン参加 ジオかるた活用です

子育て世代は、働く場所がない、安心して子供が育てられないと嘆いている声をきく中、香美町教育振興基本計画に大きな期待をしている、基本方針15「ふるさとを創る」

教育長 今、子供たちが仲間や地域の人たちと何をしたかが、やがて大人になってふるさとになる。地域との交流、伝承にふれさせ、子供たちが主体的に次の時代を担ってい

て次代のふるさとを創り、ふるさとを発展させる取り組みを教育的側面から試行してゆくところがあるが、具体的に何をどうするか

く基礎的な、郷土愛、探検心を培いたいと思えます。例えば残酷マラソンには、小学校、中学校が参加しており、大人の後姿を見て、自分たちの将来に繋げて行く試みや、若者まちづくり懇話会でジオかるたを作成、活用し、町づくりに繋がる動きもしております。



施工業者はさらに町内業者で！

現在住宅リフォーム補助金要綱は来年3月末が
期限になっていますが、



山森 昭夫 議員

町内小規模事業所の支援を求めよう！ 振興支援は重要だと考えています

その経済効果の実績や依然と厳しい小規模事業所の現状を勘案し、支援の継続を進言する。

また、京都府の与謝野町が町内中小企業の支援条例を制定されて注目を集めている。

本町の企業環境も類似している。

過去3年間の実績や効果

町長 指摘の制度による町内業者への波及効果は一定程度あります。

町内業者に効果が広く及ぶ中小企業振興支援条例の制定に取り組みられるよう提言する

また、町内事業所の大半を占める中小企業の振興支援は重要であり、今後とも関係団体との協議に重点を置き、振興支援条例制定は検討課題とさせていただきます。

事業内容を精査・検証したうえで町財政の状況を踏まえて判断したいと考えています。



ラジオ体操が町を救う



森 利秋 議員

ラジオ体操を全町に普及せよ！ ラジオ体操のCDを無料提供し普及します

ラジオ体操は町民の誰もが知っており、大きな資源であり宝物である。ラジオ体操を続ければ健康増進や介護予防をはじめ、◎食事がおいしい◎かぜを引かなくなった

◎肩こりがなくなった◎疲れにくくなったなどの効果がある。町教育の重点の中でラジオ体操にしっかりと取り組むとあるが、具体的にどう取り組み、普及していくのか

町長 ラジオ体操は誰でも取り組め継続することでの効果は大であります。ラジオ体操をして頂き、生涯にわたって元気な人生を送って頂きたいものです。

【教育長】ラジオ体操の指導者講習会に参加し町の指導員を養成します。普及の具体的な方法として、①町主催のラジオ体操講習会を開催します。②ラジオ体操のCDが必要な地区やグループには教育委員会が無料で提供します。③生涯スポーツの基礎を培うという意味で学校教育でもしっかりと取り組んでいきます。



しおかぜ香苑の広場



地震が起きても安心して学べる学校を

子どもの遊び場・公園の整備を 検討し、実現を目指します



橘 秀太郎 議員

子供は外での遊びを通して様々なことを学び、心身ともに成長するもの

である。最近では、ゲーム機を使つての対人交流を必要としない屋内での遊びが増えてきているが、それは、魅力的な遊び場がないことも一因ではないだろうか？子供の遊び場の少なさについての行政側の認識を問う。また“公園像”について子育て世

代の親と行政側の認識に大きなギャップがあるように思えるがどうか

があると思われる。子ども・子育て会議のような委員の方々等の意見も聞きながら子供の遊び場の環境作りの議論もしていきます。現在は公園整備の計画はありませんが、現状の施設を中心に活用し、充実、改修する必要があります。また、グランドゴルフ場の近くの遊び場の整備なども検討します。

統廃合を前提にせず学校耐震化急げ！ 統廃合を視野に入れていません



谷口 眞治 議員

地域の将来に大きく影響する問題であり、慎重の上にも慎重に考える必要があるが、どう考えるのか

減り、先生の数も減り、地域の教育力の半減となります。さらに教師の人員費は全額県費負担で財政的にも有利にならないことを前提にして、スーパーチャレンジプランの検証と地域の皆さんとの判断に基づいて結論を導きたいと思います。

町長 ①決して統廃合が視野に入っているわけではありません。本町の教育の問題点は小規模校のあり方であり、その検討とともに補助金の範囲内での耐震化を進めます。

教育長 ②今年の夏に2校の教育環境会議で保護者、地域の意見を伺ってから方向づけします。

①前町長は、「長井、余部小学校などの小規模校の耐震化工事は、統廃合の結論が出てから判断する」としていたが、新町長はどう考えるか。
②小規模校の統廃合は、

町長はどうか。

教育長 ②今年の夏に2校の教育環境会議で保護者、地域の意見を伺ってから方向づけします。



低迷する子牛価格

但馬牛については再三にわたり質問をしているが、全く進展が見られないので再度振興策について質問をする。但馬家畜市場は原産地の但馬牛とは言つものの全国市場の



西村 伸一 議員

但馬牛の振興対策は 経営規模に応じて支援策をします

最下位の子牛価格となっている。子牛価格の下落と為替によるところの円安で飼料が値上がり、畜産経営が大変厳しい状況となっている。このような現状をふまえ対処することが必要と思うが町としての支援策を伺う

町長 町では畜産農家の堆肥処理に対する負担軽減又、粗飼料多給のすくすく育ち事業等々経営

を支えていくため、各種支援策を講じていますが経営規模によって課題も異なっています。今後はその規模に応じてそれぞれの抱える問題を解決する為の対策を抽出して対応して行きたいと考えています。



区民の願いはこの看板にあり



田野 公大 議員

小代区内の幹線道路である国道482号線において、若桜への連絡道路

国道482号線の早期開通を!! 開通に向け最優先で取り組みます

として町道若小屋線があるが、ここ数年一部崩壊により通行止めとなっている。他市県への連絡道路は観光振興・産業振興の上からも重要なインフラだと考える。また、県道87号線も含め早期開通は小代区民の以前のからの強い要望である。

新町長として今後開通に向けてどう取り組んでいくか考えを伺う

町長 国道482号、若桜までの道路の開通再開に向けての考え方は、先の選挙戦において私も小代地域の皆さんに固く約束をした部分です。一

日も早い事業化、あるいは開通に向けての努力は惜しまない考えです。また、県道87号のこともありますが実現性に向けての判断は国道及び町道若小屋線の開通を優先します。現に新温泉土木事務所から町道若小屋線については、年次計画的に進めると報告を受けています。

この人にあり

(小代区)

今回の取材は、少年野球チーム「小代美少クラブ」代表の上治紀仁さん（小代区水間在住）にお話を伺いました。



上 治 紀 仁さん

チームの正式名称は「小代美少クラブ」といいます。

選手の学年・人数は

小代小学校2年生から6年生までで、14人です。

チームの運営費(会費)は

年2回に分けて4月に1万円・10月に1万円、兄弟で入部の場合、2人



目以降は5千円です。

代表就任はいつから

平成24年の10月から第29期の代表に就任しました。

代表として日常の活動は

監督・コーチと連携を取りながら、練習日の日

程調整や練習場の確保、練習試合の調整など、主に事務方で参加しています。

代表をする中での苦勞や悩みは

小代美少クラブにお世話になって9年目で、初めての代表役です。指導熱心な監督・コーチ・協力的なお父さんやお母さん・練習のお手伝いや試合の応援に来てくださるOBの方々のおかげで苦勞や悩みはありません。

試合地(遠征)への移動手段・経費はどうされていますか

何名かの保護者の車でいきます。ガソリン代は、遠征当日選手1名につき500円集金してその中から支払っています。飲み物等は運営費から支出しています。

遠方へはどの辺まで行かれますか

遠くても兵庫県内です。但馬地区が多いです。

日々の活動を通じて感じる事は

元氣な挨拶が何処でも誰にでも野球を通じて出来るようになった事と、技術の上達の速さには感心しています。

香美町議会に意見がありましたら

子供たちは、スポーツを通じて日々の家庭での生活や学校では学べない

ことを学びます。そのため施設利用の助成・整備を要望します。



小代美少クラブの歩み

昭和60年7月、旧美方町の有志により、野球をやつてみたい子供たちを集め「美方町小代少年野球クラブ」として設立。以後現在の「小代美少クラブ」に名称変更し、来年が設立30周年となりました。兵庫県大会3位など様々な大会において、輝かしい成績をおさめています。保護者の中には、1・2期生もあり、親子2代でグラウンドを駆け巡る姿に歴史の重さを感じます。人数は少なくなりましたが、諸先輩方の伝統を受け継ぎ、野球を通じて、礼儀・挨拶・健全な青少年の育成に励んでいます。

編集後記

6月定例議会が開かれ議案審議を始め、一般質問が議長を除く15名中14名の議員で行われ、議場において活発な議論が交わされました。

改選後初めての一般質問ということで、町民の方々の関心と期待も高く、会期中は50名の皆様が熱心に傍聴されました。

第三期香美町議会より広報公聴常任委員会と名称も改まり、「町民に開かれた議会」を目指し、より多くの皆様に議会活動を理解して頂くよう創意工夫を凝らした議会だよりの編集に努めてまいります。

編集発行責任者

議長 西坂 秀美

広報公聴常任委員会

委員長 橘 秀太郎

副委員長 徳田喜代子

委員 藤井 昌彦

委員 西谷 尚

委員 山森 昭夫

委員 田野 公大

委員 西村 伸一

(下)